

機械工学科

1. 授業科目一覧表

【機械工学科 平成22年度(2010年度)入学者用】

区分	必修	科目名	単位数	開講期	1年	2年	3年	4年
一般		文化論	2	前後	●			
		社会学	2	後	●			
		国際関係論	2	前	●			
		歴史	2	前	●			
		生活健康科学	2	休講	●			
		言語文化論Ⅰ(中国)	2	前	●			
		言語文化論Ⅱ(中国)	2	後	●			
		言語文化論Ⅰ(ドイツ)	2	前	●			
		言語文化論Ⅱ(ドイツ)	2	後	●			
		言語文化論Ⅰ(フランス)	2	前	●			
		言語文化論Ⅱ(フランス)	2	後	●			
		教育と社会	2	前	●			
		ボランティアの研究	2	前	●			
		スポーツ文化論	2	前		●		
		日本国憲法	2	前		●		
		心理学	2	前		●		
		哲学	2	後		●		
		経済学	2	後	●			
		思想と宗教	2	後			●	
		経営学	2	後			●	
		科学技術史	2	前				●
		体育実技Ⅰ	1	前	●			
		体育実技Ⅱ	1	後	●			
		△外国語ゼミ	1	休講		●		
		小計(24科目)	45					
		日本事情Ⅰ ※1	2	休講	●			
	日本事情Ⅱ ※1	2	休講	●				
	日本経済Ⅰ ※1	2	前	●				
	日本経済Ⅱ ※1	2	後	●				
	日本語Ⅰ ※1	2	前	●				
	日本語Ⅱ ※1	2	後	●				
	小計(6科目)	12						
外国語科目	◎英語Ⅰ	1	前	●				
	◎英語Ⅱ	1	後	●				
	◎英語Ⅲ	1	前		●			
	◎英語Ⅳ	1	後		●			
	◎英語演習Ⅰ	1	前	●				
	◎英語演習Ⅱ	1	後	●				
	◎英語演習Ⅲ	1	前		●			
	◎英語演習Ⅳ	1	後		●			
	◎コミュニケーション英語	2	前			●		
	△TOEIC初級Ⅰ	1	前			●		
	△TOEIC初級Ⅱ	1	後			●		
	△TOEIC中級Ⅰ	1	前				●	
	△TOEIC中級Ⅱ	1	後				●	
	小計(13科目)	14						
数学系科目	◎基礎線形代数	2	前	●				
	◎基礎線形代数演習	2	前	●				
	◎応用線形代数	2	後	●				
	◎応用線形代数演習	2	後	●				
	◎微分学	2	前	●				
	◎微分学演習	2	前	●				
	◎積分学	2	後	●				
	◎積分学演習	2	後	●				
	◎微分方程式	2	前		●			
	◎確率統計学	2	後		●			
	◎複素関数論	2	前		●			
	◎ベクトル解析	2	後		●			
	小計(12科目)	24						
理学系科目	◎基礎物理実験	2	前	●				
	◎物理学Ⅰ	2	前	●				
	◎物理学Ⅱ	2	後	●				
	◎基礎化学実験	2	後	●				
	◎化学Ⅰ	2	前	●				
	◎化学Ⅱ	2	後	●				
	◎物理学演習Ⅰ	2	前	●				
	◎物理学演習Ⅱ	2	後	●				
	◎栽培 ※2	2	前	●				
	◎地球科学	2	前		●			
	◎電磁気学	2	後		●			
	◎量子力学	2	後			●		
	◎生物学	2	前			●		
	小計(13科目)	26						

(注記1) 必修欄の◎印は、必修科目を示す。

(注記2) 必修欄の○印は、選択必修科目を示す。

(注記3) 必修欄の△印は、自由単位の科目を示す。

(注記4) ※1は、留学生の履修科目を示す。

(注記5) ※2は、中学校教諭1種免許(技術)取得希望者のみ履修可能。

(注記6) ※3は、早期卒業見込者の履修科目を示す。

区分	必修	科目名	単位数	開講期	1年	2年	3年	4年
機械工学専門科目	◎	コンピュータ実習Ⅰ	2	前	●			
	◎	コンピュータ実習Ⅱ	2	後	●			
	◎	材料力学Ⅰ	2	前		●		
	◎	工業力学	2	前		●		
	◎	熱力学Ⅰ	2	前		●		
	◎	流体力学Ⅰ	2	前		●		
	◎	CAD基礎製図	2	後		●		
	◎	計測工学	2	後		●		
	◎	機械工学実習Ⅰ	1	前後		●		
	◎	機械工学実習Ⅱ	1	前後		●		
	◎	機械工学実験Ⅰ	1	前後			●	
	◎	機械工学実験Ⅱ	1	前後			●	
	◎	機械力学Ⅰ	2	前			●	
	◎	制御工学Ⅰ	2	前			●	
	◎	機械工学プロジェクト	2	後			●	
	◎	プレゼンテーション技法	2	後			●	
	◎	特別ゼミ ※3	2	後			●	
	◎	卒業研究	8	通年				●
	○	コンピュータ概論	2	前		●		
	○	機械要素	2	前		●		
	○	機械材料	2	後		●		
	○	機構学	2	後		●		
	○	自動車工学概論	2	前		●		
	○	航空宇宙工学概論	2	後		●		
	○	機械工作法	2	前			●	
	○	情報工学	2	前			●	
	○	コンピュータ図学	2	前			●	
	○	工作機械	2	前			●	
	○	工業力学演習	1	前			●	
	○	材料力学演習Ⅰ	1	前			●	
	○	熱力学演習Ⅰ	1	前			●	
	○	流体力学演習Ⅰ	1	前			●	
	○	機械設計法	2	後			●	
	○	材料力学Ⅱ	2	後			●	
	○	熱力学Ⅱ	2	後			●	
	○	流体力学Ⅱ	2	後			●	
	○	数理解析	2	後			●	
	○	材料力学演習Ⅱ	1	後			●	
	○	機械設計法演習	1	後			●	
	○	熱力学演習Ⅱ	1	後			●	
	○	流体力学演習Ⅱ	1	後			●	
	○	伝熱工学	2	前				●
	○	設計製図Ⅰ	2	前				●
	○	機械工学インターンシップ	2	前				●
	○	精密加工学	2	前				●
	○	流体力学Ⅲ	2	前				●
	○	数値計算法	2	前				●
	○	電子工作実習	2	前				●
	○	弾性力学	2	前				●
	○	機械力学演習Ⅰ	1	前				●
	○	制御工学演習Ⅰ	1	前				●
	○	機械力学演習Ⅱ	1	後				●
	○	制御工学演習Ⅱ	1	後				●
	○	数値計算法演習	2	後				●
	○	機械力学Ⅱ	2	後				●
	○	制御工学Ⅱ	2	後				●
	○	設計製図Ⅱ	2	後				●
	○	流体機械	2	後				●
	○	空気力学	2	後				●
	○	計算力学	2	後				●
	○	塑性加工	2	後				●
	○	メカトロニクス	2	前				●
	○	工学倫理	2	前				●
	○	生産工学	2	前				●
	○	環境工学	2	前				●
	○	内燃機関	2	前				●
	○	システム工学	2	前				●
	○	ロボット工学	2	前				●
	○	工業法規	2	前				●
	○	木材加工 ※2	2	前			●	
	○	職業指導Ⅰ	2	休講	●			
	○	職業指導Ⅱ	2	休講	●			
	△	基礎数学演習	2	前	●			
	△	基礎物理演習	2	前	●			
	△	情報処理特講Ⅰ	2	前		●		
	△	情報処理特講Ⅱ	2	後		●		
	小計(76科目)	142						

◇機械工学科における進級及び卒業の要件は、次のとおりです。

【機械工学科 平成22年度(2010年度)入学者用】

区 分		2年への進級	3年への進級	4年への進級	卒 業
一般共通科目	◎必修	2学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 32単位以上 を修得してなければなりません。	3学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 68単位以上 を修得してなければなりません。	10 単位	10 単位
	選 択			-	-
	小 計			18 単位	18 単位
共通基礎科目	◎必修			24 単位	24 単位
	選 択			-	-
	小 計			4 単位	4 単位
専 門 科 目	◎必修	26 単位	36 単位		
	○選択必修	12 単位	12 単位		
	選 択	22 単位	32 単位		
	小 計	48 単位	68 単位		
合 計		32 単位	68 単位	104 単位	124 単位

<履修上限について>

◇1年間に履修できる単位数の上限は、50単位とする。

但し、教職科目、自由単位科目、機械工学インターンシップ及び科目に(再)の付く再履修科目は、履修上限に含めない。

<自由単位について>

◇各学年の進級及び卒業に必要な単位数のなかには、自由単位を含めることができない。

自由単位は、次のとおり、各教育課程に規定した単位数を超えて修得した単位のことをいう。

- ①一般共通科目選択科目において、18単位を超えて修得した単位。
- ②共通基礎科目選択科目において、4単位を超えて修得した単位。
- ③専門科目において、必修単位36単位及び選択必修単位12単位を含め、68単位を超えて修得した単位。
但し、4年への進級判定時には専門科目において、必修単位26単位及び選択必修単位12単位を含め、48単位を超えて修得した単位も自由単位とみなす。
- ④自由単位科目(△印)及び教職科目にて修得した単位。

<進級及び卒業判定について>

◇2年への進級は、休学期間を除き、1年以上在籍している1年の学生を対象とする。

◇3年への進級は、休学期間を除き、1年以上在籍している2年の学生を対象とする。

◇4年への進級は、休学期間を除き、1年以上在籍している3年の学生を対象とする。

◇卒業は、休学期間を除いて4年以上(8年以内)在籍し、卒業研究を修了している4年の学生を対象とする。
卒業には、学費を全納していなければならない。

<早期卒業について>

◇早期卒業については、早期卒業の認定基準を満たしていなければならない。

<留年生の復級について>

◇留年した学生が留め置かれた学年で、自由単位を除き、所定の単位を修得した場合は、教授会の議をへて該当学年への進級を認める。